

せん じゆ めし もり おんな 千住の飯盛女

—江戸近郊の盛場—



▲「千住宿当申食売女人別書上帳」(文政7年)永野家文書

◀豊国三代(江戸名所百人美女 千住)(安政5年)

千住の寺院には、千住宿の繁栄を影で支えた飯盛女たちの供養塔があります。江戸の入口であり、旅人たちの送迎の場となった江戸四宿には、それぞれ遊郭(飯盛旅籠)が賑わいを見せました。幕府は明和元(1764)年、品川宿は500人迄、千住・板橋両宿は150人迄という飯盛女の人員規制を出し、これをなかば公認しました。千住宿には36軒の飯盛旅籠がありました。文政7(1824)年の「千住宿食売女人別書上帳」には、千住宿内にいた飯盛女たちの名前や年齢、出身が書き上げられています。



▲金蔵寺の千住遊女供養塔(区登録有形文化財)
この地で死んだ遊女戒名が刻まれている。(千住2-63)